



2017年夏に宮城県石巻市と牡鹿半島をメイン舞台として開催され延べ26万人を動員して話題となった

**アート・音楽・食の総合祭  
「Reborn-Art Festival」  
2019年夏に開催決定**

副学長）、高橋明也（三菱一号館美術館館長）、長谷川祐子（東京都現代美術館理事、東京藝術大学大学院教授）、遠藤彰子（画家）海外審査員 プレット・リットマン（イサム・ノグチ財団および庭園美術館館長）、曲徳益（画家）、フロレンス・ドリユー（ハウザー&ワースギャラリーディレクター）、エマニエル・ルクー（ル・モンド紙美術評論家）、鄭林（Tang Contemporary Art創業者）主催（財）アートオリンピア/共催 人間国宝美術館/企画協力 よしもとアートエンタテインメント/協賛 豊島区、(株) ウィークリーセンター



リボーンアートフェスティバル2017、牡鹿半島の風景  
写真:青野尚子

「Reborn-Art Festival」(リボーン・アートフェスティバル)。その第2回が、2019年夏に開催されることと決定した。同フェスは実行委員長を音楽家・小林武史が務め、アート・音楽・食をテーマにさまざまなイベントが開催されるといふもの。メイン舞台が東日本大震災において甚大な被害を受けた地域ということもあり、初回では多くのアーティストがその土地を意識した作品を発表し、アートとしてもハイレベルな内容となった。今回は「いのちのちのざわり」がテーマ。震災など自然の脅威や、資本主義が勢いを増していく現代社会において、いまだ先の震災の爪痕が残る

**美術商交換会  
いちいち会**

次回開催日 **1月11日 金曜日**  
開始時刻 **正午12時**  
会場 **銀座洋協ホール**  
〒104-0061 東京都中央区銀座6-3-2  
☎03(3571)3402  
(入場は古物商許可証取得者に限ります)

毎月1回国内の美術商が集まるディラーズオークションです。ご出品に限り一般の方からのご依頼も承ります。

詳しくは下記までお問い合わせください。

株式会社ロイドワークスギャラリー  
113-0034 東京都文京区湯島4-6-12 湯島ハイタウン1階  
☎03-3812-4712  
<https://roidworksgallery.jimdo.com/>

場所での「いのち」という根源に触れる総合祭を目指す。アートにおいては新たな試みとしてマルチキュレーター制を取り入れ、作品展示等が行われる7つのアートエリアを担当する。キュレーター陣は、島袋道浩(美術家)、名和晃平(美術家)、豊嶋秀樹(クリエイター)、有馬かおる(美術家)、和多利恵津子(ワタリウム美術館館長)、和多利浩一(ワタリウム美術館CEO)、中沢新一(思想家)、小林武史(音楽家)の8名。アートエリアには、新たに網地島エリアが加わった。

現時点では参加作家など詳細は決まっていないが、百花繚乱のアートイベントにおいて初回から独自の存在感を獲得しただけに、今後の展開に要注目だ。いのちの根元に深く触れることのできる作品を、期待したい。

■Reborn-Art Festival 2019 (リボーン・アートフェスティバル) 会期 2019年8月3日~9月29日 (網地島エリアは8月20日から) 会場 牡鹿半島、網地島、石巻市街地、松島湾  
オフィシャルHP: <http://www.reborn-art-fes.jp>

**くつきー、麒麟・川島も応援  
アートオリンピア2019  
概要決定**

「アートオリンピア」は世界の才能あるアーティストの発掘を目的として隔年で開催される国際公募展。三回目となるアートオリンピア2019が開催されることと決定し、11月16日に都内で開催発表会見が開かれた。2015年、17年では、金賞1320万円(12万ドル相当)、銀賞300万円など賞金と複勝の総額が5500万円(50万ドル)という破格の高額賞金が授与されることが最も注目された。

また、国籍問わず世界中から応募を受け付ける一方、審査員にも欧米・アジアの美術関係者が参加するなどの国際的なコンクールであること、最終審査は点数制でその模様は



アートオリンピア2019の記者発表に登壇する審査員アバサダー関係者

ユーチューブで世界に配信される新しい審査方法が採用されていることなど、これまでにないコンクールとしても話題を集めた。

今回はさらに、よしもとアートエンタテインメントが企画協力として参加することが発表され、アンバサダーとしてお笑いコンビ「麒麟」の川島明と「野性爆弾」のくつきーの就任が発表された。

山口伸廣(一般財団法人アートオリンピア理事長)は「よしもとアートエンタテインメントとは、若手を育てるといふ共通点で一致している。日本の野球選手がメジャーリーグへ行くように、アートでも世界へ羽ばたくきっかけを一緒に作っていきたい」と期待を語った。



自作の絵画を紹介するレイザーラモンHG(中央)と論評する保科豊巳氏(右)。左はアンバサダーのくつきー

**作品撮影**

絵画、書、工芸、彫刻専門

—承ります—

※料金は全て税込

| サイズ     | 出張      | 当スタジオ持込み |
|---------|---------|----------|
| 8×10インチ | ¥30,000 | ¥15,000  |
| 4×5インチ  | ¥10,000 | ¥5,000   |
| 6×7センチ  | ¥5,000  | ¥2,500   |
| デジタル    | ¥5,000  | ¥2,500   |

出張は交通費実費、プリント実費、デジタルはCD渡し  
(月~金9:00~19:00/土9:00~17:00/日祭日休)  
**(有)MGMフォートサービス**  
〒104-0061 中央区銀座1-21-5河崎ビル1F  
Tel.03-3535-5435 Fax.03-3535-2307  
E-mail. mshinnopmc@yahoo.co.jp  
E-mail. mgm-sh@paw.hi-ho.ne.jp

概要説明のあと、くつきー、レイザーラモンHG、R-11ぐらんぶり2011優勝者のピン芸人・佐久間一行、アーティスト活動もするタレントのキシモトマイのよしもと所属の4人が登壇し、それぞれが自ら描いた絵画を1枚ずつ発表。概ね好意的な評価を受ける中、自身を中央に描いたレイザーラモンHGの作品は審査員に厳しい評価を受けてたじろぐ場面もあって会場を沸かせた。

前回は世界82カ国から3834作品もの応募があった同コンクール。日本を代表するエンタテインメント企業という新しいパートナーを得て、

これまで以上に話題のコンクールとなる同展に、世界中からどんな新しい才能の作品が集まるかに期待が寄せられる。

■アートオリンピア2019  
出品申込期間  
2月1日(金)~3月20日(水)  
受賞選抜展6月8日(土)~16日(日)、としまセンタースクエアにて受賞作品約100点を展示  
本展6月23日(日)~29日(土)、東京都美術館にて入賞、入選、佳作約280点を展示  
日本審査員 千住博(画家)、保科豊巳(現代美術作家)/東京藝術大学